

～令和元年産米の作柄及び集荷状況をお知らせします～

◆ 令和元年産米集荷実績状況 ◆

【令和元年10月31日現在】

【単位：60kg/俵】

地区別集荷実績	計画数量	契約数量	集荷実績	1等米比率	計画対比	契約数量対比
のしろ東	59,800.0	58,349.0	57,008.5	93.6%	95.3%	97.7%
のしろ北	85,500.0	84,244.0	82,122.5	90.6%	96.0%	97.5%
能代計	145,300.0	142,593.0	139,131.0	91.9%	95.8%	97.6%
二ッ井	58,500.0	61,104.0	54,627.5	89.1%	89.1%	89.4%
藤里	36,200.0	36,666.5	34,506.5	94.9%	94.9%	94.1%
合計	240,000.0	240,363.5	228,265.0	91.7%	95.1%	95.0%

※ 1等米比率は、加工用米等を除いた比率となっております。

◆ 管内の品質状況 ◆

今年の管内の収穫量は平年と比較してやや多くなりました。また、1等米比率の平均は、91.7%（10月31日現在）と昨年より3ポイントほど低くなりました。今年はおもみ数は多かったものの、「8月の登熟期間が高温による粒の充実不足や白未熟粒、胴割粒、カメムシ類による斑点米の発生」などによる等級落ちが多かったことから、次年度は徹底した対策をお願い致します。

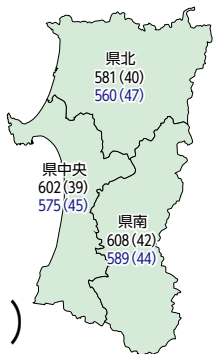
◆ 水稻作柄概況 ◆

【令和元年10月15日現在】

東北農政局は10月15日現在の作柄概況を県北部は10a当たり予想収量581kg、作況指数104と発表しました。昨年同時期に出された県北の作況指数は96となっております。

〈図1〉作柄表示地帯別10a当たり予想収量（10月15日現在）

秋田
600(kg) (前年差40kg)
577(kg) (前年差44kg)



(上段:1.70mmベース
下段:1.85mmベース(参考))

令和元年産水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（10月15日現在）

区分	10a当たり 予想収量 ①	(参考)農家等が使用している ふるい目幅で選択		作況指数 ④=②/③	作柄概況(平年比較)			
		10a当たり 予想収量 ②	10a当たり 平年収量 ③		歩数の多少	1穂当たり もみ数の多 少	全もみ数 の多 少	登熟の良否
秋田	600	577	554	104	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
県北	581	560	537	104	多い	やや少ない	やや多い	平年並み
県中央	602	575	551	104	多い	やや少ない	やや多い	平年並み
県南	608	589	566	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 (参考)農家等が使用しているふるい目幅で選別の②10a当たり予想収量、③10a当たり平年収量及び④作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（東北は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
3 「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」及び「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が対平年比106%以上、「やや多い(やや良)」が同102～105%、「平年並み」が同99～101%、「やや少ない(やや不良)」が同95～98%、「少ない(不良)」が同94%以下に相当する。

10月31日公表 東北農政局 資料抜粋

来月のあなたの運勢（2019年12月）



牡羊座

(3・21～4・19)

行動力が高まる時期。やりたいことに挑戦すれば、予想以上にすんなり成果が出せるはず。遠出の旅も刺激大

2019.11月号
しらかみ

8